

ダーレックス スーパー30F-C

JIS A 6204 流動化剤 標準形（I種）

はじめに

スーパー30F-Cは、JIS A 6204（コンクリート用化学混和剤）に適合するポリカルボン酸系の流動化剤標準形I種です。

近年、ポリカルボン酸系を主成分とするAE減水剤や高性能AE減水剤がコンクリート用化学混和剤として多く使用されています。

ポリカルボン酸系の化学混和剤を用いたベースコンクリートの流動化に対して、従来のナフタレン系やメラミン系を主成分とする流動化剤は一般的に相性が悪く、所要のスランプが得られない場合があります。このようなベースコンクリートへ対応すべく、スーパー30Fは、特殊ポリカルボン酸系化合物を主成分として開発された流動化剤です。

主成分・物性	
主成分	特殊ポリカルボン酸系化合物
外 観	褐色液状
密度 (g/cm ³)	1.020-1.070
全アルカリ量 (%)	0.3
塩化物イオン量 (%)	0.01

※ 全アルカリ量および塩化物イオン量は測定値例です。



使用方法

- スーパー30F-Cは原液で使用し、ベースコンクリートに使用されている化学混和剤の主成分によるスランプ1cm増大に対する使用量の目安は、以下の通りです。
 - ▶ ポリカルボン酸系化学混和剤の場合、スランプ1cm増大に対して、ベースコンクリートの単位セメント量（結合材）の0.02~0.04%（質量）です。
 - ▶ ポリカルボン酸系化学混和剤以外（主に、リグニン系化学混和剤）の場合、スランプ1cm増大に対して、ベースコンクリートの単位セメント量（結合材量）の0.04~0.08%（質量）です。
- スーパー30F-Cの使用量は、使用材料、配（調）合、環境温度やミキサの種類により増減する場合があります。コンクリート温度によるスーパー30F-Cの使用量の増減は、温度20℃における所要量に対し、温度10℃では約1割減、温度30℃では約1割増を目安に、目標のスランプが得られるように、あらかじめ試し練りによって定めてください。
- スーパー30F-Cは、現場にてコンクリート打設直前に添加後、60秒~90秒高速・かくはんを行い、均一に流動化して下さい。また、現場の諸事情などで高速かくはんが難しい場合には、中速回転で120~180秒のかくはんを行ってください。

JIS A 6204 による試験結果例

項目		JIS A 6204 流動化剤 標準形 試験結果		
		規格値	試験値	評価
ブリーディング量の差 (cm ³ /cm ²)		0.1 以下	0.02	適合
凝結時間の差 (分)	始 発	-60~+90	+15	適合
	終 結	-60~+90	+25	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	90 以上	101	適合
	材齢 28 日	90 以上	101	適合
長さ変化比 (%)		120 以下	101	適合
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	93	適合
				適合
経時変化量	スランプ (cm)	4.0 以下	1.5	適合
	空気量 (%)	±1.0 以内	0.2	適合

使用材料：セメント；普通ポルトランドセメント 3 種等量，細骨材；陸砂，粗骨材；碎石 2005，スーパー30F-C 使用量：C×0.375%

使用上の注意事項

- 雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管してください。もし、凍結した場合には、徐々に温め、融解・攪拌後ご使用ください。
- 取扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用してください。
- 皮膚に付いた場合には、速やかに上水道水で十分洗い流してください。眼に入った場合は、眼をこすらず直ぐに上水道水で十分洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ぐに吐かせ、多量の飲料水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 詳細な情報が必要な場合は、弊社の製品の安全データシートをご参照ください。

gcpat.com | 商品に関する問い合わせ: asia.enq@gcpat.com

GCP ケミカルズ株式会社

東京事務所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1 丁目 8 番 1 0 号 クリエイトビル 6 階

Tel: 03 (5226) 0231 Fax: 03 (3239) 2251

技術部 〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地

Tel: 046 (225) 8877 Fax: 046 (221) 7214

本書に記載されている情報は正当および正確とみなされるデータおよび情報に基づいており、ユーザの考察、調査、および 検証に役立てていただくために提供するものです。弊社による使用環境の制御は不可能なため、弊社は使用効果を保証しないものとします。

弊社の全製品を対象とした限定保証および賠償などの使用条件とともに、すべての記述、提言、または忠告事項をよく読んでください。

いかなる記述、提言、または注意事項も法廷義務または第三者のいかなる権利を故意に妨害または侵害する目的で使用することを禁じます。